

## 告 辞

本日ここに、鹿屋体育大学卒業証書および学位記授与式を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

卒業証書および学位記を授与された皆さんは、ご家族の方々をはじめとする、多くの関係者の皆様の慈愛あふれるご支援があったことを、改めて思い起こす必要があります。と同時に、国立大学法人鹿屋体育大学の教職員の皆様のご薫陶の大きさに対して、心からの謝意と敬意を表したいと思っております。

さて、今年には、隣国、韓国、韓国ビヨンチャンで冬季オリンピック・パラリンピックが開催されました。2年後の東京では、夏季オリンピック・パラリンピックが開催されます。そこでは、選手の素晴らしいパフォーマンス、特に我が国の選手の活躍が社会や国民に大きな力と感動を与えるでしょう。

「スポーツを通じて幸福で、豊かな生活を営むことは全ての国民の権利である」と法律として謳っておりますが、それはスポーツが、人間や人間社会に対してさまざまな価値を持つからだと考えます。

スポーツの価値の一つ目は、スポーツを競技することにより、人間は身体的、精神的能力を開発、発展させ、また競い合うことによる追求の喜びや楽しさを享受できることです。そして、選手によって発揮される素晴らしいスポーツパフォーマンスは、見る人に感動と夢を与えるものとなるでしょう。

二つ目は、適度な強度、頻度でスポーツ・運動することが、体力の維持・増進に役立つことです。若いときは、運動不足でも成長によりそれなりからだと動かすことはできますが、二十代を過ぎからだを動かさなくなると、年齢とともに筋力や持久力の低下が顕著になります。共にスポーツ・運動をすることにより運動仲間との交流も生まれるでしょう。

そして、三つ目は、スポーツ大会やスポーツイベントの開催により、地域が活性化することです。現在いろいろな地域でスポーツイベントが企画され、開催されています。ここ鹿児島県でも指宿菜の花マラソン大会、鹿児島マラソン大会などが開催され、他県からも多くの参加者が集まりにぎわっています。このようなスポーツ競技大会では、参加する選手だけでなく、その大会を運営する人たち、そして、その大会を沿道等で応援する人たちが一体となって地域が盛り上がります。大会の成功には「する、見る、支える」ことが必要となります。二〇二〇年には東京オリンピック・パラリンピックが、そしてここ鹿児島県では国民体育大会が開催されます。日本の代表選手が、県の代表選手が活躍することが期待されますが、選手を支えるコーチスタッフたち、大会運営を支える人たち、そして大会を盛り上げ選手の活躍を促す応援者の存在があって、これらのスポーツ競技大会が成功します。

スポーツの推進・振興には、施設設備など物的環境が必要です。また、それを準備・運営するための経費も必要でしょう。しかしながら、最も重要なことは選手、指導者、応援者など、人的要素だと考えます。スポーツの価値を最大限にするためにも、それに関係する人は品位、倫理観をもつことが肝要だと考えます。人としての品位、倫理観を失くせばそこで生まれたものが負の財産になってしまいます。

本日、卒業証書および学位記を授与された皆さんには、有償、無償にかかわらず、時代に即した倫理観を持って、スポーツ文化を伝える、広めるリーダーの役目を、国内外を問わず、今後、担っていただけれることを切に希望します。

青春時代をすごされたここ大隅の地を、鹿屋体育大学を第二のふるさと思っただけ、皆さんがいつでも、何度でも来訪、来学されることをお待ちしています。

これからも、皆さんが心身ともに健康を維持され、社会のリーダーとして活躍されますことを教職員一同、心から祈っております。

最後になりましたが、本日、平成二十九年度の卒業証書および学位記授与式を挙行するにあたり、ここにご来賓のご臨席を賜るとともに、保護者の皆様方のご参列をいただきましたことを厚く御礼申し上げます、卒業証書および学位記授与を祝う告辞といたします。

平成三十年三月二十三日

鹿屋体育大学長

松下 雅雄